



平成 29 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社タカラトミー
 代 表 者 名 代表取締役社長 ハロルド・ジョージ・メイ
 (コード番号 7867 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 取締役常務執行役員連結管理本部長
 小島 一洋
 (電話番号 03-5654-1548)

通期業績予想の修正および個別業績予想と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、下記のとおり最近の業績動向を踏まえ、平成29年3月期の通期業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。また、平成29年3月期の個別業績予想につきまして、下記のとおり前事業年度の実績値と比較して差異が生じることから、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期連結業績予想数値の修正 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益又は は当期純損失(△)	1株あたり 当期純利益又は 当期純損失(△)
前回発表予想 (A)	百万円 168,000	百万円 4,000	百万円 3,200	百万円 1,500	円 銭 17.62
今回修正予想 (B)	164,000	7,000	7,000	4,000	46.31
増減額 (B - A)	△4,000	3,000	3,800	2,500	—
増減率 (%)	△2.4	75.0	118.8	166.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	163,067	2,698	1,459	△6,703	△78.74

2. 平成29年3月期個別業績予想数値および前期実績との差異 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益又は当 期純損失(△)	1株あたり 当期純利益又は 当期純損失(△)
前期実績 (A)	百万円 61,298	百万円 3,332	百万円 3,439	百万円 △2,474	円 銭 △29.07
今回修正予想 (B)	75,000	3,000	4,000	3,000	34.73
増減額 (B - A)	13,701	△332	560	5,474	—
増減率 (%)	22.4	△10.0	16.3	—	—

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想

売上高は、国内玩具市場において、定番商品「トミカ」「プラレール」「リカちゃん」や、4月からテレビアニメがスタートした次世代ベゴマ「ベイブレードバースト」、トレーディングカードゲーム「デュエル・マスターズ」などの販売が好調に推移しているものの、海外市場において、ベビー、プリスクール関連商品の販売が低調に推移していることなどから、当初想定を若干下回る164,000百万円となる見込みであります。

営業利益は、利益率の高い国内の玩具ビジネスが好調であることに加え、TOMY International グループの事業立て直しを進める中、収益性が改善しており当初予想を3,000百万円上回る、7,000百万円となる見込みであります。

経常利益は、為替相場の変動により、当社の保有する在外子会社に対する外貨建債権の評価替え等に起因する為替差益を計上するとともに、営業利益の大幅な増加見込みにより、当初予想を3,800百万円上回る7,000百万円となる見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前述のとおり経常利益の大幅な増加により、当初予想を2,500百万円上回る4,000百万円となる見込みであります。

(2) 個別業績予想（前期実績値との差異）

売上高は、国内玩具市場における販売が好調に推移していることに加え、今期より商流変更に伴うアメリカ向けの出荷が含まれることから前年同期を上回る見込みであります。

営業利益は、売上拡大戦略の一環として広告宣伝費を増加させるとともに、販売子会社である㈱タカラトミーマーケティングとの商流変更に伴う在庫評価減を計上することで、前期実績を下回る見込みであります。

経常利益は、営業外収益における為替差益が増加したことで前年同期を上回る見込みであります。

当期純利益は、経常利益の増加により前年同期を上回る見込みであります。

4. 配当予想について

配当予想につきましては、今回の業績予想に伴う変更はなく、すでに実施した中間配当（第2四半期末）1株につき5円、期末配当として1株につき5円（年間配当金は1株につき10円）を予定しております。

【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上